

DVD映画 10秒で転送 ソニー・東工大、次世代無線の半導体

2012/2/21付 | 日本経済新聞 朝刊

ソニーと東京工業大学は20日、スマートフォン（高機能携帯電話＝スマホ）などに応用できる次世代無線通信技術向けに新型の半導体を開発したと発表した。60ギガ（ギガは10億）ヘルツの「ミリ波帯」と呼ばれる高周波数帯を使う短距離の高速無線技術向けで、DVD映画1枚相当のデータを10秒以内で転送できるようになる。

ソニーと東工大が共同で開発した。同無線技術向けはこれまで消費電力が大きいのが課題だったが、半導体回路の設計を簡略化したほか、データ転送効率を高めることで消費電力を削減し、携帯端末でも利用しやすくした。無線通信に使う半導体全体の消費電力が1ワット以下で毎秒6.3ギガビットの速度で通信できる。実用化の時期は未定だが、数年後とみられる。

「ミリ波帯」を使う次世代無線技術では膨大なデータを高速でやりとりできる。このためデジタル機器間をつなぐケーブルを省けるなどのメリットがある。

新技術を使えば、同じ容量のデータを送受信する際の消費電力を従来方式の8分の1に削減できる。省電力性能を高めることで新たに携帯端末分野への応用を促す。将来は、スマホに保存した高精細の映画データを外出先の大画面テレビに無線で映し出すなどの用途につながりそうだ。

NIKKEI Copyright © 2012 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。